

ラーニングテクノロジー開発室

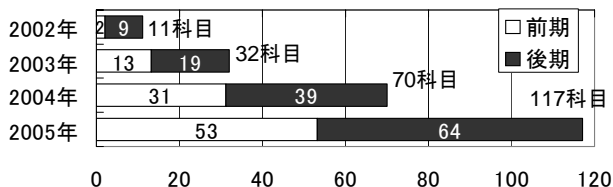
ニュースレター

WebCT CE6 特集 — 2006年7月 WebCT完全リニューアル —

○ WebCTって何ですか？

WebCT(「うえぶしーてい」と読みます)は「コース管理システム」と呼ばれる製品のひとつですが、むしろ、授業支援システムと呼ぶ方がピッタリです。教材を提供したり、小テストやアンケートを実施したり、課題提出を受け付けたりといった授業での活動を、インターネットを介して行うことができます。簡単に言うと、授業のためのウェブサイトを楽しみながら作成し、運営できるシステムといったところでしょうか。

帝京大学理工学部は2002年にWebCT SE (Standard Edition)が導入され、現在はCE(Campus Edition)4が使われています。WebCTを活用する授業は、その利便性から学生の評判も高く、表1のように毎年、著しく増加してきました。



○ 何が新しくなるのですか？

2006年7月に、WebCTの新しいバージョンCE6へバージョンアップします。CE6では、性能、利便性、使いやすさが大幅に向上しました。更に、帝京大学全体をカバーするライセンス形態にアップグレードし、

板橋、八王子、相模湖、宇都宮、福岡、全てのキャンパスで利用することができるようになります。

○ 機能を全部覚えなければいけないのですか？

いいえ、そんなことはありません。自分の授業でやりたいことにあわせて機能を選んで、とりあえず、その機能の使い方だけマスターすればOKです。授業のサイトに表示させる機能を選ぶことができますから、シンプルにも多機能にも自由に設定できます。まずは、授業でどんなことをしたいか、LT開発室にご相談ください。個別にコンサルテーションをいたします。

○ CE4で使っていたコンテンツを移行できますか？

2006年7月から一年間は現在のCE4とCE6の両方を運用します。その間に、コンテンツを移行します。夏休みの間に移行してしまうのもよいでしょう。コンテンツの移行作業はLT開発室がお手伝いします。

○ 今すぐ、CE6を使ってみることはできますか？

CSKシステムズ社が提供するトライアルが利用できます。LT開発室にお申込ください。トライアルで作成したコンテンツを本学のサーバに載せることも可能です。

その他、ご不明な点はLT開発室にお問い合わせください。

NEWS

◆ 私情協 大学等電子著作物

権利処理事業のご案内

本学は、前号でもご案内しました私立大学情報教育協会(私情協)の電子著作物権利処理事業へ大学として参加しました。この事業は、電子著作物を教職員間で相互に利用するために、オンラインシステムに著作物を登録し、著作権処理を自動化しようというものです。興味をお持ちの方はぜひ登録をお願いします。現在は13名の先生方の登録があります。本事業の詳細はLT開発室のウェブサイトの「電子著作物権利処理事業について」、もしくは私情協のウェブサイト(<http://www.juce.jp/crdb/>)をご覧ください。

本事業の帝京大学内の窓口はLT開発室です。ご不明な点は裏面の連絡先までお問い合わせ下さい。

◆ 今後のLTセミナー

以下のテーマで開催を予定しています。詳細はポスターやLT開発室のウェブサイトにてお知らせいたしますので、そちらをご覧ください。

☆5月のLTセミナー

「講義録画システム活用入門(仮)」

5/25(木) 16:40~18:10 本部棟2号館2F 201室

☆6月のLTセミナー(理工学部FD委員会と共催予定)

「授業改善セミナー」

6月開催予定

いずれも宇都宮キャンパスで行います

5月のLTセミナーでは講義録画システムを活用して教材を作る方法をご紹介します。ご紹介する講義録画システムはMacユーザのみならずも活用可能です。ぜひご参加下さい。

6月のLTセミナーは授業改善セミナーです。現在、話題提供者を募集しています。話題提供の内容は実践の成果や計画段階のもの、授業改善のタネでもOKです。募集の締切は5月19日(金)です。皆様のご応募お待ちしております。

※LT開発室では、LTセミナーで扱ってほしいテーマを募集しています。電子メールなどでご連絡ください。

◆ 第4回日本WebCTユーザカンファレンス

日本WebCTユーザ会主催「第4回日本WebCTユーザカンファレンス」が、2006年8月29～30日に京都コンピュータ学院にて開催されます。カンファレンスの詳細については、日本WebCTユーザ会のサイト (<http://www.webct.jp/>) でアナウンスされる予定です。

◆ 平成18年度

全国大学IT活用教育方法研究発表会

私情協主催による平成18年度全国大学IT活用教育方法研究発表会への発表募集が始まっています。発表申込みの締め切りは、2006年5月8日です。詳細は、私情協のサイトをご覧ください。

<http://www.juce.jp/LINK/news/houhou/2006happyo.htm>

◆ 平成17年度 現代GPフォーラム報告

平成17年度 現代GPフォーラムは、2006年3月4日

に東京ビッグサイトにおいて開催されました。このフォーラムは、平成17年度現代GPに選定された各大学の教育改革の取組の参考とすることを目的としており、多くの大学の参加がありました。

◆ 平成17年度現代GP

「e-Learning専門家の人材育成」

事業成果報告会

『平成17年度現代GP「e-Learning専門家の人材育成」事業成果報告会 第2回eLPCOオープンフォーラム』が2006年3月30日に青山学院大学において開催されました。この報告会ではe-Learningに関する3件の講演と、同大学による平成17年度現代GPの事業について3件の報告がありました。

上記2件についての詳しい報告はLT開発室のウェブサイトでご覧下さい。

WebCT活用授業レポート

携帯端末とWebCTを利用した授業活性化の試み

今回は、理工学部情報科学科の熊澤弘之先生にお話をうかがいます。

LT 11月のLTセミナーでは、携帯電話を使った授業実践をご紹介いただきました。出席登録と管理について教員の手間がかなり減ったとのことでしたが。

熊澤先生 このシステムを使うには準備が必要ですが、それを考慮しても作業時間は従来の約4分の1で済むという結果が出ています。教員が出席を取るだけでなく、学生は携帯で出席回数を参照できるため、学生・教員双方にとって利便性が高いと思います。WebCTへも自動的にデータを記入するシステムを現在開発中です。

LT 授業で携帯を活用されたお話もありましたね。

熊澤先生 携帯を利用した小テストとアンケートは、2005年度の前期「電気磁気学2」「電磁波工学」の授業中に試験的に行いました。集計結果をすぐにフィードバックできたり、学生が参加意識を持てるなど授業を活性化できたと思います。授業時間外にも小テストができるようにして欲しいという意見も出ていますが、サーバへのアクセスの問題などから、いつでも学習できるようなシステムにすることはこれからの課題となっています。

LT 携帯とWebCTとを連携させて効果的な学習を進められると理想的ですが、いかがでしょうか。

熊澤先生 現在、WebCTには、実験実習科目のうち「電気基礎実験」にセルフテストや実験の説明ビ

デオを、「通信工学実験」には実験の説明資料を載せて学習しやすくしています。講義科目では、シラバス、授業中の配布資料、試験の過去問題などを載せています。また、授業終了後には授業内容の項目を公開しています。欠席した学生は、その項目について自分で調べて学習できるしくみです。今後は、毎回の小テストを作成し、携帯とWebCTの両方に載せて内容の充実を図ろうと考えています。携帯はあまり大きなコンテンツを見るのに適していないので、簡単に提示できる問題を携帯で示し、その解説をWebCTに載せることも考えています。いろいろ構想はあるのですが、両方に載せるのが面倒ですね。

LT 小テストなどをWebCTに載せるのは、LT開発室のアシスタントがお手伝いいたします。ところで、出席登録管理システムは誰でも使うことができるのでしょうか。

熊澤先生 ええ、理工学部では既に何人かの先生方がお使いになっています。詳しいことはご相談いただければと思います。

LT いろいろなお話をありがとうございました。

11月のセミナーの様子は、LT開発室のウェブサイトからご覧いただけます。(理工学部内からのみアクセス可能です) また、その内容を2006年6月発行予定の「ラーニングテクノロジー開発室年報第3巻」に、寄稿していただきました。ぜひご覧ください。

編集後記

桜の季節は早いもので、つい先日、花が咲いたかと思えばもう葉桜になりましたものがちらほらと。今年も結局お花見には行けずじまいでした。さて、年度の移り変わりということで昨年度の報告を少々させていただきます。昨年度は授業の設計やWebCTを活用する方法についてのLTコンサルテーションが34件、WebCTを活用した授業が117科目ありました。今年度もみなさまからのご連絡をお待ちしております。(及川)

ラーニングテクノロジー開発室連絡先

<http://www.LT-Lab.teikyo-u.ac.jp/>

宇都宮キャンパス本部棟2号館2F 202室 028-627-7243 (直通)

◇室員：武井 恵雄(室長)、渡辺 博芳、古川 文人、高井 久美子、及川 芳恵

◇一般的なお問合せ：LT-Staff@LT-Lab.teikyo-u.ac.jp

◇技術的なサポート：LT-Support@LT-Lab.teikyo-u.ac.jp

